

令和6年度 福祉工学 第1回レポート（4/9（火）実施）

[学年] 4 [番号] 45 [氏名] 山口惺司 [得点]

【問題】（1項目につき2点，最高10点）

高齢者や障害者だけでなく，身のまわりの人々が実際に遭遇したバリア（社会的，機器的など）を挙げよ．また，工学技術を応用して具体的に支援する方法があれば併せて述べよ．

- ・ 自転車で車道を走行しているとき、道の凹凸が激しかったり、車との距離が近くなり事故が起こりやすくなったりする。
→自転車用道路を作り、整備する。
- ・ 複数人が同時に同じサイトにアクセスすることで、サーバーに負荷がかかり、動作が遅くなる。
→サーバーを強化する。
- ・ 教室でエアコンを使用しているとき、人によって暑かったり寒かったりする。
→一人ずつ体温を検知して風の流れを調整する。
- ・ 事故による車の渋滞
→事故をいち早く検知しAIなどを用いて車を誘導し、渋滞を緩和する。
- ・ 高齢者がスマホやパソコンなどの最新の技術に追いつけていない。
→直感的に操作できるデバイスを作る、講座を受けさせる。